

ソフトウェア品質シンポジウム2023 クロージング

ソフトウェア品質シンポジウム委員会
委員一同

参加者数・企業数と一般発表投稿数

ソフトウェア品質シンポジウム2023

- 本会議 + 併設チュートリアルに参加者総数

630名！！！！

- 本会議 + 併設チュートリアルに参加企業総数

188社！！！！

- 一般発表 採録数 / 投稿数 (採録率)

27件 / 28件 (96.4%)

科技連



日本科技連



日本科技連



日本科技連



日本科技連



日本科技連

基調講演:

「Kano Modelから品質について学ぶ！」

狩野 紀昭 氏

東京理科大学 名誉教授 工学博士



日本科技連

科技連



特別講演:

「人びとの暮らしを支える
インテリジェントモビリティとその進化」

安井 裕司 氏

株式会社本田技術研究所 先進技術研究所
知能化領域 エグゼクティブチーフエンジニア

RandD Yuji Yasui

2023年度 一般発表者のご紹介

カテゴリ	タイトル
設計/ レビュー	<ul style="list-style-type: none"> ・レビューの新たな品質メトリクス収集「エーオース(Eös)法」の提案 ～レビュー会議の会話データを分析し、発言に関する心理的パラメータを測定～/ 芳沢 圭一 様 ・オンラインレビューに適したファシリテーション手法の提案/小笠原 栄二 様
テスト/ 品質保証	<ul style="list-style-type: none"> ・変化するシステム構造とテスト戦略/池田 純二 様 ・もう一段上の品質を目指して ～テスト偏重主義からの脱却のカギは内部品質と職場環境にあり～/高山 隆一 様 ・「僕たちはそれをデベロップメントと呼ぶ」というだけの話/松山 大 様 ・利用時の品質モデルを活用した品質保証プロセスの提案と実践/西村 和也 様
品質分析・ 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模ソフトウェア開発における品質・生産性向上のための定量分析/齊藤 拓也 様 ・PF構築の新たな規模相当メトリクス定義に向けた仮説検証の取り組み/山口 貴久 様 ・大規模ミッションクリティカルシステムにおけるトラブル再発防止管理事例 ～トラブル多発時の包括分析手法の提案と適用事例紹介～/掛川 悠 様
組織のマネ ジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業部門の改善活動を促進する「QMS活動クリニック」 ～QMS内部監査を刷新し、事業部門のQMS活動の改善と品質目標達成に寄与～/ 篠田 みゆき 様 ・自ら考え自ら変える組織改善活動 ～一人ひとりの変革マインドを育て、成長し続ける強い組織に～/南池 佐和子 様 ・クラウドサービスのセキュリティ品質点検の仕組み構築と運用/堤 智也 様

2023年度 一般発表者のご紹介

カテゴリ	タイトル
開発技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ローコード開発プロセスについて／長坂 昭彦 様 ・ローコードアプリケーション基盤上での開発における品質保証の取り組み／藤井 和弘 様 ・MDAツールによるソフトウェア品質保証／平井 宣 様
リスク マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・DX案件の早期リスク把握による品質確保／須田 健一郎 様 ・早期リスク発見によるプロジェクト成功率向上／岩田 彩子 様 ・工程完了判定業務におけるQCサークル活動の実施／中島 輝 様 ・STAMP/STPAとイベントシーケンス図を用いた複数コントローラが協調するシステムにおけるハザード対策の検討支援手法の提案／高附 翔馬 様
アジャイル ／DevOps	<ul style="list-style-type: none"> ・QAチームを作る前に実施できる プロダクトバックログアイテムの見直しによる品質向上／笹尾 納勇仁 様 ・アジャイルと反復開発 ～忍者式テスト20年の実践から～／深谷 美和 様 ・DevOps初心者チームのサービス運用における改善ポイント／木村 慎吾 様
AI／IoT	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークフローモデルの構築によるAI推論フローの処理割当て手法の提案／伊藤 弘毅 様 ・ロングテールな分布の入力を扱う機械学習システムに対するテスト設計手法の提案／松尾 正裕 様 ・IoT技術を用いた組込み系製品のラズベリーパイを使用した自動化の問題点と解決方法／林 尚平 様
プロセス 改善	<ul style="list-style-type: none"> ・新規プロダクト開発における品質向上のためのプロセス改善に関する取り組み 井関 武史 様

2023年度 Special Talk Session (STS) のご紹介

コース	討論テーマ、担当リーダー
STS1	【討論テーマ】 自動システムテストのテストスクリプトの保守と管理について 【リーダー】 小井土 亨 氏 / 山口 鉄平 氏 ともに、テスト自動化研究会
STS2	【討論テーマ】 テストエンジニアの育成について 【リーダー】 長谷川 聡 氏、佐々木 方規 氏、山崎 崇 氏、磯邊 悠里子 氏 4名とも、株式会社ベリサーブ
STS3	【討論テーマ】 設計、分析モデルや仕様で手戻りを減らすには？ 【リーダー】 公文 一博 氏、今西 洋二 氏 ともに、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社
STS4	【討論テーマ】 日本のDXを阻害する障害は何か？ ～ DXの魅力的品質を高めるには何をすべきか ～ 【リーダー】 福井 信二 氏 株式会社Goldratt Japan
STS5	【討論テーマ】 QA組織/チームの立ち上げ、いま改めて問う「QA」の在り方 【リーダー】 松木 晋祐 氏 株式会社ベリサーブ / 湯本 剛 氏 株式会社ytteLab
STS6	【討論テーマ】 モデル図をもとにオリジナルのテスト技法を考えよう 【リーダー】 蛭田 恭章 氏 株式会社ベリサーブ

2023年度 ツール出展企業様のご紹介



■ プレゼンコース①

■ 出展企業：mabl Inc.

■ タイトル：インテリジェントなローコードテスト自動化ソリューションmabl

■ 概要：

mablはローコードでテストを作成できる、品質エンジニアリングのためのインテリジェントなテスト自動化プラットフォームです。

実際に多くのアジャイルチームが、開発サイクルにE2Eの自動テストを統合するのに、mablのSaaSプラットフォームを活用しています。mablの強みの一つとして、テストの作成・実行・メンテナンスが非常に簡単な点が挙げられます。

例えば、UIに変更があるたびに自動的にテストを修正するだけでなく、テスト結果の詳細をまとめたレポートを作成し、本番環境でバグが見つかる前に修正を行うサポートをします。

mablはローコードソリューションのため、専門的な知識や経験の有無を問わず、チームの誰もがソフトウェア全体的な品質、ひいてはお客様満足度の向上に貢献することができます。

2023年度 ツール出展企業様のご紹介



■ プレゼンコース②

■ 出展企業：Snyk株式会社

■ タイトル：エンジニアが使いやすい！
次世代の脆弱性管理 ツールSnyk（スニーク）

■ 概要：

Snyk（スニーク）は、安全な開発を迅速に行うことを支援しています。コードやオープンソースとその依存関係、コンテナやIaC(Infrastructure as Code)における脆弱性を見つけるだけでなく、優先順位をつけて自動的に修正します。

Gitや統合開発環境(IDE)、CI/CDパイプラインに直接組み込むことができるので、デベロッパーが簡単に使うことができます。

2023年度 ツール出展企業様のご紹介



■ プレゼンコース③

■ 出展企業：オーティファイ株式会社

■ タイトル：ノーコードテスト自動化プラットフォーム
「Autify for Web」

■ 概要：

「Autify」は、開発したソフトウェアが期待通りに動くかを検証するソフトウェアテストを、AIの活用によってノーコードで誰でも簡単に自動化可能にしたクラウドアプリケーションです。

AIの活用でプログラムコードを書く必要なく、ブラウザ操作を記録するだけで、誰でも簡単にテストシナリオの作成・実行ができます。また、新たな機能を追加した際もUIの変更をAIが検知し自動でメンテナンスします。

致命的な事業リスクとなる不具合を防ぐために必要不可欠なソフトウェアテスト。Autifyはテストを自動化することで、リリースサイクルの高速化を可能とし、顧客のニーズを素早く反映した製品を開発する事業の競争力を向上します。

2023年度 ツール出展企業様のご紹介

■ プレゼンコース④

DENSO

■ 出展企業：株式会社デンソークリエイト

株式会社デンソークリエイト

■ タイトル：ピアレビューにより品質向上とチーム成長をもたらす！
設計レビュー支援ツール Lightning Review

■ 概要：

自動車業界の開発現場で生まれた本ツールは、組込み現場の知見を取り込んでいる。日々行われるレビューが直感的になり、修正ミスや対応漏れを防止できるため、ソフト・ハード開発現場で大きな効果が確認できている。本セミナーではツールの特徴と導入効果（コスト削減、品質向上、チームメンバーの成長）を紹介する。

2023年度 ツール出展企業様のご紹介

The logo for TechMatrix, featuring the word "TechMatrix" in a bold, sans-serif font. The "a" in "Matrix" is stylized with a white outline and a yellow fill, set against a yellow background.

■ プレゼンコース⑤

■ 出展企業：テクマトリックス株式会社

■ タイトル：3つの視点から見る
後付けセキュリティテストからの脱却方法とは

■ 概要：

ソフトウェア開発におけるセキュリティテストの重要性は年々増加しています。しかし、安易にリリース優先で後付けのセキュリティテストを実施されるケースも少なくありません。後付けセキュリティテストはテストを実施した結果は残りますが、成果が出しづらく、また修正する場合リリース遅延が発生するケースがあります。

そこで、本セミナーでは、前工程で実施される3つの脆弱性対策に着目し、効率的なセキュアコーディング規約準拠の手法について、自動テスト生成による網羅的なCWEの脆弱性検出とテストカバレッジ最大化について、SBOM作成による複雑なソフトウェアに含まれるOSSのライセンス把握、脆弱性検出、リスク可視化についてご紹介します。

2023年度 ツール出展企業様のご紹介



■ プレゼンコース⑥

■ 出展企業：ハートランド・データ株式会社

■ タイトル：自動テストと動的解析で自動バグ発見器を作れ！

■ 概要：

ときに「泥臭い」と表現される組込み機器開発。
ハードウェアと密接な低レイヤーソフト開発のテスト・デバッグでは、自動テスト環境の構築・維持の難しさや、テスト・デバッグごとに実機操作が伴う手間など、現実的なお悩みが散見されます。
そんな組込み開発に、「自動テスト」と「動的解析」を組み合わせた「自動バグ発見器」をご提案。泥臭い課題をスマートに解決しましょう。
弊社の組込み用テスト自動化プラットフォーム「AUTOmeal」と、動的テストツール「DT+」を組み合わせることで、組込み開発にも自動テストを手軽に導入しつつ、テストNGのケースでソフト挙動をコード行レベルで細かく追い込めます。

2023年度 ツール出展企業様のご紹介

■ カタログコース（6社）

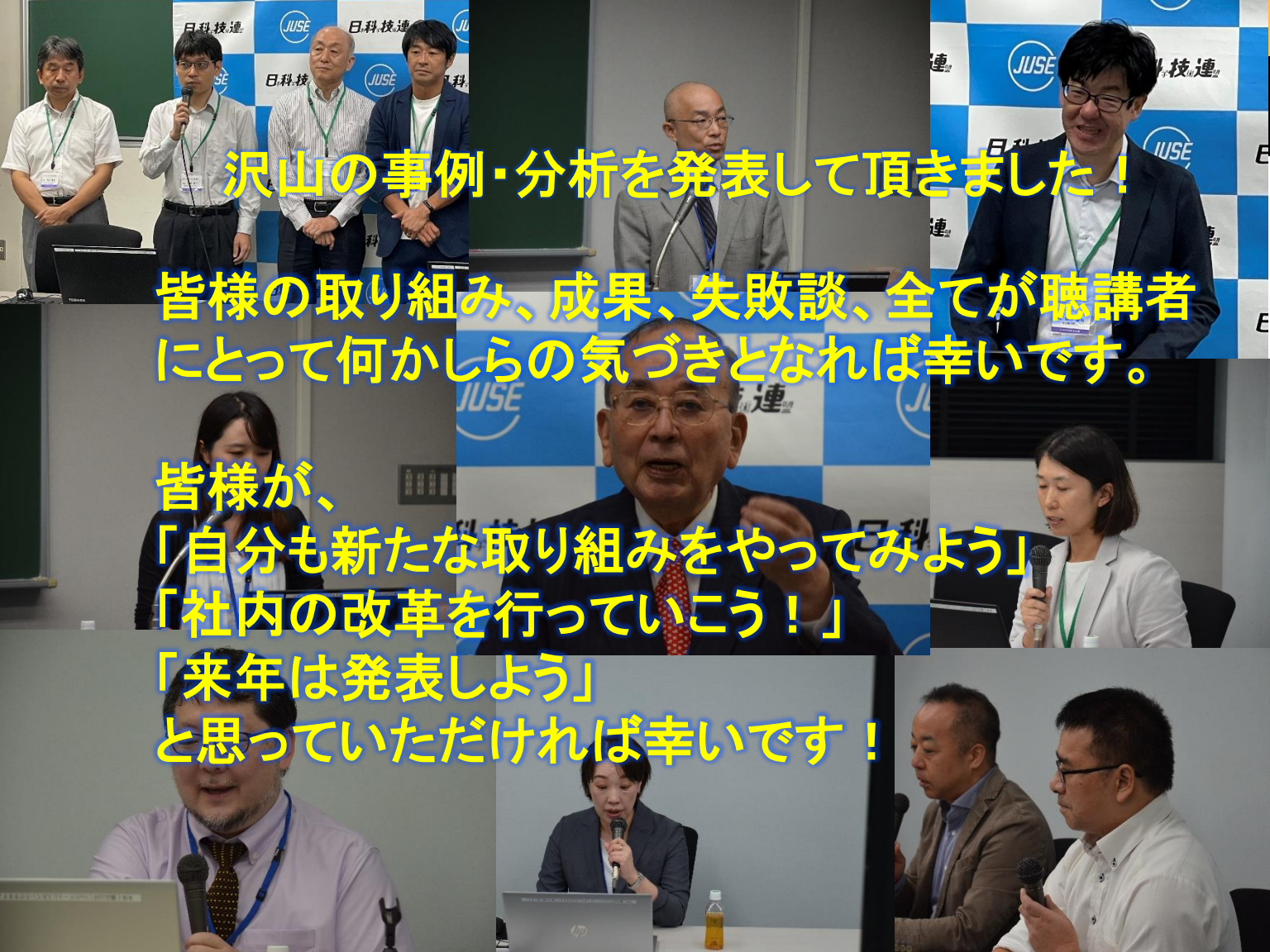
■ 出展企業：（順不同）

- ・ 株式会社MagicPod
- ・ 株式会社ベリサーブ
- ・ 株式会社日本科学技術研修所
- ・ 株式会社日立ソリューションズ
- ・ Launchable,Inc.
- ・ 六元素情報システム株式会社



株式会社日立ソリューションズ 株式会社 日立ソリューションズ





沢山の事例・分析を発表して頂きました！

皆様の取り組み、成果、失敗談、全てが聴講者にとって何かしらの気づきとなれば幸いです。


皆様が、

「自分も新たな取り組みをやってみよう」

「社内の改革を行っていきましょう！」

「来年は発表しよう」

とだけ思っただけであれば幸いです！



これにてソフトウェア品質シンポジウム2023を終了します。

ご発表いただいた皆様、
ご質問・ご議論いただいた皆様、
シンポジウムの運営・準備にご協力いただいた皆様、
大変お疲れ様でした、そして、ありがとうございました！

また来年、ソフトウェア品質シンポジウム2024で
でお会いいたしましょう！

ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員一同